

日本栄養士連盟 新潟県支部だより

発行日：令和5年5月25日

発行者：日本栄養士連盟新潟県支部
〒951-8052 新潟市中央区
下大川前4ノ町2230
エスカイ大川前プラザ 104号
☎025-224-5966

特別寄稿

日本栄養士議員連盟所属 自民党新潟県連会長 衆議院議員 高鳥 修一



平素より管理栄養士・栄養士の皆様方には大変お世話になっており、厚く御礼申し上げます。

さて、5月8日、新型コロナウイルスが感染法上「5類」に移行され、ようやく落ち着きを取り戻せた感がありますが、これまでの間、病棟での栄養管理や給食管理の最前線に立たれていた管理栄養士・栄養士の皆様方におかれましては、感染拡大に伴い日々刻々と対応を変化せざるを得ず、大変ご苦労されたことと思います。改めて敬意と感謝の気持ちを表すところです。

また、4月に行われました新潟県議会議員選挙では、おかげ様で自民党は議席数を増やし過半数の29議席を得て、引き続き花角県政を安定的に支える立場を頂きました。自民党新潟県連会長として、ご支援ご協力に感謝申し上げます。

新潟県は、日照不足によるビタミンD欠乏や塩分の過剰摂取など雪国特有の特徴を有し、元々、栄養には関心が強い地域であります。また新潟県は、「県健康づくり・スポーツ医科学センター」がスポーツ指導員・栄養士・医師という3者の専門スタッフの連携により、運動・栄養・休養の3つの観点から肥満、低栄養などの生活改善に取り組む独自のプログラムを開発するなど、栄養分野を踏まえた健康づくりには先進的な県だと思えます。さらに近年、県立病院をめぐる医療再編問題においては、看護や栄養管理など在宅療養が重要視されており、栄養士の役割が注目されてきております。

私は、国会議員となって以来、障害者福祉をはじめ厚生労働分野に真剣に取り組んできました。厚生労働政務官や衆議院厚生労働委員長を務めてまいりましたが、私がこれまで特に力を入れてきたのが、医療、介護、子育てなどの現場で働かれている方々の処遇改善です。特に栄養士の分野では、人手不足が叫ばれている中、専門的な知識を有する管理栄養士のニーズは大変高まってきておりますので、診療報酬・介護報酬などの上乘せのほか、現場の負担を軽減するためのDX（デジタルトランスフォーメーション）導入を積極的に支援していきたいと考えております。皆様と一緒に頑張ってまいります。

「皆で結束して！支部愛を育て 受け継ぎ受け継なごう」

支部長 入山 八江

東京の桜の開花がまもない3月7日、東京事務所に挨拶に伺いました。栄養士議員連盟に加入しておられる衆議院議員、高鳥修一先生と細田健一先生の議員会館の中の事務所に伺い、栄養士会に対する日頃のご支援に対し感謝を述べ親しくお話を聞いていただきました。また、予算委員会の最中のご多忙の最中、栄養士議員連盟の総会が行われ、関係省庁に向けた栄養士に関わる要望を発言して下さる姿を目の当たりにし、こうした努力なくして法改正は有り得ない事と実感しました。栄養士として働き続けるために、労働環境や処遇の改善、栄養士制度の充実、診療報酬介護報酬の引上げなど、栄養士の声を議員連盟の国会議員に届ける活動を行っていく必要があります。先輩から受け継いだ連盟組織を、後輩にしっかり受け継いで行きましょう。



細田健一議員と事務所にて



高鳥修一議員事務所にて秘書さん

◆令和5年度会費納入のお願い！！

【会 費】
【振込口座】

年 2,000 円

ゆうちょ銀行 00580-0-82642 日本栄養士連盟新潟県支部

※振込の際は、栄養士会員番号の記入をお願いいたします。

◆昨年度の連盟活動の成果◆

自由民主党厚生労働部会から、管理栄養士・栄養士の処遇改善において、「看護職や介護職員同様、管理栄養士・栄養士にも報酬を引き上げる措置の柔軟な運用を認める」との回答がありました。

◆3月7日に行われた栄養士議員連盟の総会に出席しました！

日本栄養士会長と日本栄養士連盟支部長が共に出席し、社会に果たしている役割、栄養士活動の課題、要望をしっかりと伝えて政治の場に届けていただくようお願いをしていました。

ご挨拶 栄養士議員連盟会長 参議院議員 山東 昭子
栄養士議員連盟幹事長 衆議院議員 土屋 品子
日本栄養士連盟会長 井上 幸子

- 議事 1. 2023年度予算・税制等に関する要望及び今後の取り組みについて説明
関係省庁同席
【厚生労働省】健康局健康課長、健康局健康課栄養指導室長
【内閣官房】こども家庭庁設立準備室 企画官
【文部科学省】初等中等教育健康教育・食育課長、高等教育局専門教育課長

主な議論

1 東京栄養サミット2021の開催により成果文書として、東京栄養宣言を発出した。日本政府のコミットメント（誓約）は①健康的で持続可能な食環境づくり等の政策を展開し進捗・成果を毎年、公表する。②国際支援：世界の栄養改善に貢献する。（抜粋）

【厚生労働省】「健康的で持続可能な食環境づくりのための戦略的イニシアチブ」推進体制を立ち上げた。「食塩の過剰摂取」「若年女性のやせ」「経済格差に伴う栄養格差」等課題に取り組む。

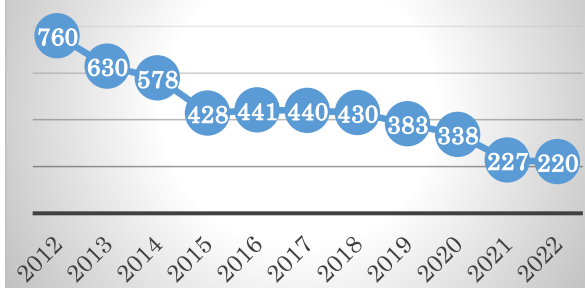
【文部科学省】学校における食に関する指導と学校給食の管理を一体的に展開するため栄養教諭の加配定数の改善を図る。

2. 日本栄養士連盟および日本栄養士会からの要望
日本栄養士会 代表理事会長 中村 丁次

2024年度（令和6年度）栄養関連予算等に関する重点要望事項

- 「誰一人取り残さない持続可能な社会の実現」に向けた栄養政策の充実強化
そのため、次期国民健康づくり運動プランにおける食環境づくりへの予算拡充を。
- こどもを取り巻くあらゆる環境を視野に入れ、健やかな成長を社会全体で後押しするための「栄養政策」の展開
そのため、生まれる前から幼児期までの地域での母子保健活動における栄養指導の充実、栄養教諭の配置促進と地域格差の是正、こども家庭庁における栄養系技官の複数配置を。
- 令和6年の診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬の改定への支援

日本栄養士連盟 新潟県支部会員数



危機です！ 会員数の超減少状況

10年前の約3分の1、新潟県栄養士会会員総数の18%という連盟新潟県支部会員数、あなたはどのように考えますか？この現状の主な原因は、「連盟の活動を知らない」ことでした。実は、私たちが「管理栄養士・栄養士」である身分を守り、向上を図り、ひいては国民の健康を守っていくことの根本にかかわる活動をしているのです。先ず、関心を持って見てください。そして是非参加を！